

# 大阪女性刺殺

## 執念深さ 府警見誤る

大阪府警にストーカー被害を相談していた飲食店店員、井村由美さん（38）が大阪市平野区の路上で刺殺された事件から9日で1週間。客だった松本隆容疑者（57）は殺人容疑で逮捕。警察の警告を受けて執拗なメール送信をやめた後も、井村さんに接触する機会を狙っていたことが府警の捜査で判明。容疑者の執念深さを見誤ったことが事件につながった形だ。専門家は「被害の芽を摘むには治療を含む対策が急務」と指摘している。



多くの花束が供えられている井村由美さんが刺殺された路上（9日午前、大阪市平野区）

### ストーカー対策 治療の充実 急務

大阪・平野のストーカー刺殺事件の経過

2013年8月ごろ	松本容疑者が井村さんが勤務する飲食店に通い始める
14年2月28日	飲食店が松本容疑者を出入り禁止に
3月1～2日	松本容疑者が井村さんに「殺される前に警察に電話してや」など33通のメールを送信
2日	井村さんが松原署にストーカー被害を相談。同署は危険度「B」と判定、松本容疑者に電話で口頭注意
12日	松原署が松本容疑者に文書で警告
4月2日	井村さんが松原署に「もう何もありません」と回答。同署は危険度「C」に引き下げ
下旬	別の店に移っていた井村さんが元の店に復帰
5月2日 未明	井村さんが刺殺される

「(井村)にいかにか探していた」。松本容疑者は松原署からストーカー規制法に基づき文書で警告を受けた3月12日、「あいづ（井村さん）には関わ

る気はない」と話したが、年1月に新設した「スト

ーカー・DV（ドメステ

を借りて店近くで待ち伏せし、帰宅する井村さん

「ストーカーは、恨みの中毒に陥っている」と強調するのは一般社団法人「男女問題解決支援センター」（東京）代表理事を務める精神科医の福井裕輝氏。

逮捕後の府警の調べに對し、その後も井村さんの居場所を探し回っていたことを認めた。

井村さんが最初に同署に相談したのは事件2カ月前の3月2日。松本容疑者から「殺される前に警察に電話してや」などメールが33通届いていたため、同署はその場で電話をして口頭注意した。

さらに、府警本部が今年1月に新設した「スト

ーカー・DV（ドメステ

「ストーカーは、恨みの中毒に陥っている」と強調するのは一般社団法人「男女問題解決支援センター」（東京）代表理事を務める精神科医の福井裕輝氏。

警察庁は4月、規制法で警告したストーカーに精神科医を紹介して受診を促す制度を試験導入した。福井氏も「ストーカーの多くは孤立していたり、将来に不安を感じていたりして自分をコントロールできない」とし、治療などによる事件防止策の充実を求めている。

「ストーカーは、恨みの中毒に陥っている」と強調するのは一般社団法人「男女問題解決支援センター」（東京）代表理事を務める精神科医の福井裕輝氏。

警察庁は4月、規制法で警告したストーカーに精神科医を紹介して受診を促す制度を試験導入した。福井氏も「ストーカーの多くは孤立していたり、将来に不安を感じていたりして自分をコントロールできない」とし、治療などによる事件防止策の充実を求めている。